

## 〇JTや教職大学院と連携した初任者・若手研修を軸にした校内研修の改革

### 調査の概要

#### ◆課題認識

- ・ベテラン教員が大量退職するため、若手教員の資質向上が必要である
- ・学校全体で初任者や若手教員を指導する体制が十分に整備できていない

#### ◆調査研究の目的

- ・「〇JTを取り入れたメンター制による研修」を実施する中で、加配教員や中堅教員が、初任者研修や若手教員研修とともに校内研究の活性化を図る
- ・教職大学院との連携を通じて、若手教員や加配教員のみならず、全教員の資質の向上につなげる

#### ◆調査研究の方法

- ・若手教員や中堅教員の意識を高め、校内の研修チームや連携の在り方、校内研究の活性化についての効果を検証する

#### ◆調査研究校

- ・滋賀県大津市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市
- ・公立中学校5校

#### ◆現状

- ・県内公立学校数：小学校220校、中学校98校、義務教育学校1校
- ・初任者：309名（229校に在籍、平成30年4月現在）
- ・初任での学級担任：298名（初任者の96.4%）
- ・研修の特色：メンター制の一部導入（5市5校）

### 取組のポイント・成果

#### ◆取組のポイント

##### ①体制整備の在り方

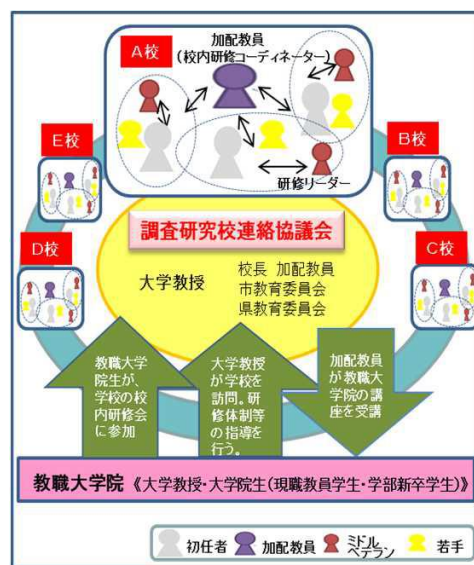
- ・校内で実施される初任者研修と校内研修をつなぐ役割として、メンター研修を取り入れた
- ・学年集団をベースにしたチームでの研修と校内研究部会をベースにしたチームでの研修を組み合わせた

##### ②〇JTを取り入れたメンター制による研修

- ・校務分掌を考慮しながらミドル層やベテラン層を中心に講師を依頼し、研修を実施した
- ・若手教員同士が意見を交流しあう研修を実施するなど、若手教員全体の力量アップを図った
- ・学年での研修は生徒指導力の向上を図り、教科部会や校内研究部会では授業力の向上を図った

#### ◆成果

- ・定期的にメンター研修を実施することにより、教育の大切な視点や原点などを再確認することができ、メンター・メンティー双方にとって有意義な研修になった
- ・学校全体の教員が関わり、初任者や若手教員を育成していこうとする意識が向上した



### 今後の課題

#### ◆「〇JTを取り入れたメンター制による研修」の充実

- ・初任者の人数に関わらず、メンター制を取り入れた研修の継続的な実施
- ・人材育成指標と関連付けた学校全体の研修の在り方や教員の資質の向上

#### そのために、管理職が

メンター制による研修の理念や目的を理解すること

メンターチーム内で日常的に話ができる仕組みづくりや職場の雰囲気醸成に努めることが重要である。